



10日(木)休診・17日(木)休診  
 24日(木)休診・31日(木)休診  
 27日(日)院長地域医療センター出務  
 18時～24時

男 女  
 おなまえ: 様 オ ヶ月  
 熱性痙攣 あり( 回 ) なし  
 ダイアアップ37.5℃以上で挿入。1回目( : )  
 続けば8H後( : )  
 熱が続いても2回で終了!!  
 突発性発疹 すみ まだ  
 インフルエンザワクチン: 1回・2回・未接種  
 インフルエンザ すみ (A・B) まだ  
 幼・保 年少・年中・年長・未満児  
 小・中学校 年

■気になったこと、聞きたいこと

お薬希望: 粉・シロップ・錠剤  
 ▲熱さまし;ある( 個くらい)・なし  
 解熱剤は38～38.5℃以上(下がる幅は約1～2℃)  
 希望: 坐薬・粉・錠剤  
 解熱剤は38～38.5℃以上(下がる幅は約1～2℃)  
 5～6時間間隔で再度使用(ひどい時4時間で大丈夫)  
 ぐずる時・痛い時・耳痛に使用、元気なら使わない

3歳まで	3歳以上ただし20kgまで	3歳以上
ナウゼリン(10)1個	ナウゼリン(30)2/3個	ナウゼリン(30)1個
15kg～25kg未満	25kg以上	
ドンペリドン5mg	ドンペリドン10mg	

内服 時間	月		日		日		日		日		日		日			
	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時	
40																
39																
38																
37																
36.5																
咳																
鼻																
食水																
嘔吐																
下痢																
腹痛																
頭痛																
のど																

熱さましの坐薬、頓服を使用した時は★をつけてください

手足口・ヘルパンギーナ・感染性胃腸炎・おなかのけい・のどのけい・咽頭炎  
 抗生剤適正使用支援(ウイルス感染疑いにて抗生剤不要)  
 メタニューモ・RS・アデノ・溶連菌・気管支肺炎・扁桃腺炎・中耳炎

### 熱さましのQ&A

- Q 粉と坐薬はどちらが効きやすいの?
 

A どちらも効果は変わりません。使いやすい方を使ってください。※嘔吐があるときは、坐薬がよいかもしれません。
- Q 坐薬を使ってもお熱が下がりません・・・
 

A だいたい1～2℃くらいです。横ばいの子供さんもいます。(例) 39℃代→38℃代までです。  
熱の下がりがなくとも、それ以上の熱の上がりをおさえています。
- Q 熱さましは何時間ごとに使っているの?
 

A 5～6時間あけてください。どうしてもきつそうな時は4時間で使用して大丈夫です。
- Q 熱さましは使ったほうがいいのか?
 

A きつそうであれば使ってあげてください。熱が高くても元気にしていれば、そのまま様子みてもいいです。  
熱がなくとも、頭痛い・耳痛い・機嫌が悪いときは使ってあげてください。
- Q ダイアアップ(痙攣止め)・ナウゼリン(吐き気止め)の坐薬を使ったらどれくらいあければ使用していいのか?
 

A 30分あければ、次の坐薬を使用しても大丈夫です。※痙攣止め(ダイアアップ)を優先しましょう。
- Q 家にある坐薬使えますか?
 

A 使用期限は約5年持ちます。(みよし薬局では、スタンプがおされています。参考にしてください)
- Q 坐薬の用量がわかりません?
 

\*6ヶ月未満はアンヒバ 100mg 1/2ヶです。6ヶ月以上は、下の表を参考にしてください。

5～6kg	7～8kg	9～11kg	12～14kg	15～17kg	18～21kg
アンヒバ 100mg 2/3ヶ	アンヒバ 100mg 3/4ヶ	アンヒバ 100mg 1ヶ	アンヒバ 200mg 2/3ヶ	アンヒバ 200mg 3/4ヶ	アンヒバ 200mg 1ヶ